

支笏湖 キムンモラップ山とモラップ山 個人山行

2023 年 11 月 25 日 (土)

参加者 CL・SW田、SL・NG沼、人数確認 I 井、体操・会計 L1730、GPS 担当 O 田、気象 U 田 N、会計 SL・UE 田、計 7 人

行動 休暇村 9 時 30 分→キムンモラップ山 10:30→10:40 モラップ山登山口→12:00 モラップ山 13:00 休憩→休暇村 14:00 解散

まだ低気温に慣れていない寒い登山でした。

出発前に誰かが言っていたリーダーが SW 田、サブリーダーが NG 沼の時は「無茶をする、危ない山行になりやすい」との指摘がありますが、「こんな寒い日に登山道のない山を登るのはヘンタイの集まり」の言葉は当たっています。しかし、今回の総勢 7 人の行動には「気負い」や「ブレ」がまったくない、なんとしても頂上に立つという人たちでした。



支笏湖休暇村駐車場を出発し、急坂の前でプランボン（アイゼン）を着用して、這いつくばるように登ってキムンモラップ山頂に到着です。

キムンモラップ山山頂にあった左の写真は森林の林班界を示す境界標石でしょうか。

国土地理院の三角点の「頂部の十字の切り込み」と異なり「バッテン」になっています。どうでもいいことですが、国土地理院 HP には一等三角点の標石が埋もれている部分の深さは盤石を入れて 73cm だそうで、「●●三角点」の表示面が南です。コンパスを当ててみるとコンパスの指す北は三角点の指す北より約 9 度西にずれているのが分かります。



キムンモラップ山 山頂



数分間の休みを取って、2 座目のモラップ山へ向かいます。
登ってきた道をそのまま戻らず、道の無い稜線を下り、車道
へいったん下ります。

登りに鮮明な道がなく、数十mの笹藪を漕いで鞍部の稜線
に出ました。頂上は広く開けたところにありました。



モラップ山の三角点（十字の切り込みあり）



モラップ山 山頂

道路に下りる手前の
風の当たらない場所で
昼食は少し遅い13時。

寒さで指先の痛みを
久しぶりに体感しまし
た。すでに完全な冬装備
が必要です。1日中、氷
点下の強い風の日でし
た。

安全登山にご協力いた
だいた皆様に感謝します。
（記録 報告 SW田）